

## 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

おおい町立大飯中学校

### 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

#### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地域代表 (3名)  
… 3 地区区長会代表  
社会教育関係者 (3名)  
… 生涯学習関係・社会教育関係・青少年育成関係  
保護者会代表 (4名) … P T A 正副会長  
学校代表 (3名) … 校長・教頭・教務  
地域コーディネーター (1名)  
… 主任児童委員

#### (2) 協議会の内容

※開催回数 年3回  
※開催日程 7月、12月、2月  
※協議内容

6月	・趣旨説明, 活動内容の説明 ・家庭, 地域, 学校の課題
11月	・途中経過の考察 ・学校評価について
2月	・学校評価結果について ・本年度の反省と課題

#### (3) 協議会における成果と課題

今年度も年3回開催し、学校や生徒の様子などについて意見交換や助言をいただき、学校運営に取り入れられる点は積極的に取り入れるようにした。また、学校や生徒の様子を見たいという委員の方々の意向もあり文化祭などに案内を送付し来校していただけるようにした。学校評価については、1学期末と年度末評価について次年度に向けた学校運営に参考にできるように建設的な意見交換ができた。

### 2 地域と進める体験活動

#### (1) 活動のねらい

自らの課題に向けて、自分の生活と地域の人々や自然とのかかわりについての探求的な活動を通して、学び方やものの考え方を身に着け、見出された課題や問題の解決に取り組む中で、地域の活性化のために主体的に取り組み「ふるさと」を愛する心を育てる。

#### (2) 活動の実際

##### ①地域活性化(1年生)

おおい町の町づくりや地域活性化の課題を把握し、豊かな地域社会の創造をめざし、地域の人々と協同して進める活動を提案することを目的としてグループで具体的な取組を考え発表した。

地域活性化といっても、具体的にどのようなことに取り組みればよいかかわからない生徒が多いので、昨年度取り組んだ2年生が1年生を対象にプレゼンテーションを行った。そのことで、今年度取り組む内容のイメージが持てたと思う。

次に、地域の実態やおおい町の地域創生戦略の取組について知るために、町役場の担当者から話を聞き、おおい町の課題と具体的な取組について学習を進めた。その後、インターネットやチラシなどを活用して他地域の取組を参考にして各グループでアイデアを出し合い、まとめる作業を行った。まとめた取組等は、町役場職員(主に若手職員)を対象にプレゼンテーションを行い、町役場職員から感想やアドバイスを頂いた。それをもとにして、より現実的な取組にしていけるよう修正を行うことができた。



(様式3)

今回も、2年生に進級した後、1年生を対象に修正を行ったものでプレゼンテーションを行う予定である。

また、地域の実態を自分の目で確かめるために、地域の行事に参加するなどして地域の方々から情報を収集することも主体的に行った。

②陶芸教室(3年)

おおい町に古くから伝わる「今谷焼」について学習し、実際に作品を制作することで、この地域の陶芸の歴史や文化について学習することを目的として、町内にある「きのこの森」の陶芸館で町内在住の陶芸家の方に指導を受けた。



普段経験することのない陶芸について歴史を学習したり、土に触れたりすることで陶芸に興味や関心を持つことができました。1人1作品を制作すると、個性豊かな作品を完成することができました。器だけでなく置物などを作成する生徒もあり、完成した作品を校内に展示したときに、創意工夫に富んだ作品がたくさん並び、全校生徒に鑑賞してもらうようにした。

おおい町に伝わる「今谷焼」を知らない生徒が多く、今回の陶芸教室でおおい町に伝わる文化について知り、おおい町のよさを実感できた生徒も多かった。なお、きのこの森までは、貸切バスを利用し移動した。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域創生戦略発表会に参加して、アドバイス等をしていただいた。
- ・地域の行事について、開催時期や内容を問い合わせ、情報提供していただくことができた。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域活性化では、中学生が知らない地域の現状やインターネットで調べられない町取組などを直接聞くことができたので、生徒が考えた取組を随時修正することができた。
- ・プレゼンテーションをするときに、聞いている人に分かりやすい表現方法や提示の仕方を町職員の発表を参考にするように意識させた。
- ・陶芸教室では、作品の制作だけではなく地域の陶芸の歴史について学習することができるように指導者に時間を確保してもらうよう依頼した。

(5) 成果と課題

成果としては、昨年度に引き続き町職員やおおい町地域おこし協力隊の方におおい町の実態や地域創生に関する情報を教えてもらったり、2年生に昨年の取組の紹介をしてもらったりすることで、どのような取組をするとよいかイメージすることができた。また、地域の方と関わることで、これまであまり意識していなかったおおい町のよさについて再発見することができ、地元おおい町を大切にしようとする心を育むことができた。

課題としては、地域コーディネーターを有効に活用することができなかつたことが挙げられる。地域コーディネーターの人数を増やし、様々な場面で協力をお願いできる体制づくりをしていきたい。ただ、中学校区は広範囲になるので、校下の3小学校と若干関わり方が変わってくる面もあり、適任者を見つけることが難しい。様々なネットワークを活用して、協力していただける方を探していきたい。